

県民の日イベント「親子水産教室」開催

当場では平成8年から毎年夏に「県民の日イベント」を開催していましたが、当場の建て替え工事のため、平成29年より開催を見送っていました。令和元年に新庁舎が完成し、イベントを開催できる体制が整ったため、令和2年8月19日に「親子水産教室」として午前中に磯観察、午後に施設見学というスケジュールでイベントを実施しました。なお、当イベントはコロナ禍での開催であったことから、親子5組限定（参加者数13名）とし、参加者には体調確認（咳、鼻水等の症状の有無）や検温（体温37.5℃以上でないか）を行ってもらい、こまめな手指消毒、マスクの着用等をお願いしました。会場としても、開校式等で使用する会議室は入室人数を定員の1/2に制限して十分な換気を行う、参加者が密集しないよう十分な距離を保つよう誘導するといった対応を取り、感染拡大防止に努めました。

磯観察は平成8～18年の県民の日イベントで実施していましたが、平成19～28年はタッチプールや当场展示室の夜

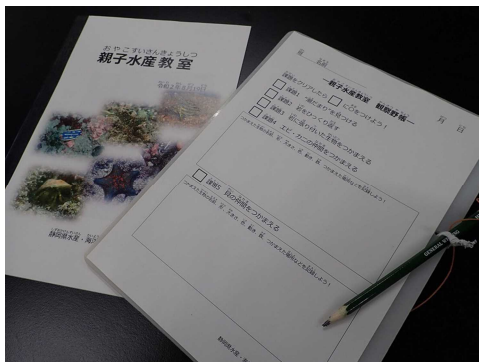


写真1 しおりと観察野帳



写真2 磯観察の様子

間開放を行っていたため、磯観察を行うのは14年ぶりとなります。今回の磯観察では、「観察野帳」(写真1)に記載された「岩をひっくり返す」「ウニ・ナマコの仲間をつかまえる」といった課題に取り組みながら、磯観察の方法や磯の生物について学んでもらいました。どの親子も熱心に生物を探したり、見つけた生物を観察用のケースに入れて名前を調べたり、スケッチしたりと、興味を持って取り組んでいました(写真2)。施設見学では、展示室の展示物の説明、各実験室の機能の紹介、飼育実験室で飼育しているアワビやイセエビ等の生物の見学、屋外水槽で飼育しているマダイやブリ(いなだ)への餌やり体験などを行い(写真3)、当場の業務内容等について理解を深めていただけたかと思えます。

地元下田市だけでなく、静岡市や富士市からも参加いただき、イベント後に行ったアンケート調査では、「とても素敵な体験ができた」「説明や感染予防など丁寧な対応だった」「海の生物を手で触れる体験は嬉しい」「また参加したい」といった評価に加え、「採取した生物の特徴をもっと知りたい」「簡単な実験なども体験してみたい」といったご意見も頂きました。今年の実施状況や反省点を踏まえ、来年以降も引き続き親子水産教室を開催したいと思います。

(鈴木勇己)



写真3 施設見学の様子



写真4 閉講式(修了証授与)